サポート・プラス
設立の経緯

- 現在代表の鈴木晧弌は、当初ＮＰＯ法人ささえあい倶楽部の会員として活動していた。
- 東日本大震災復興支援ため「チャリティコンサート」の企画をきっかけに独立して、独自の活動をする決心をした。
- ２０１３年４月名称「サポート・プラス」としてスタート

2012年 鈴木晧弌と協力者でサポート・プラスとして活動

☆会員１７名、当初資金100,000円でスタート

☆３月２４日中電ホールにてチャリティコンサート開催（ささえあい倶楽部に全面協力）

☆８月１１日シャンソンの夕べ開催（陸前高田慰問資金に）

☆９月２８日～３０日陸前高田モビリア仮設住宅訪問
（正調名古屋甚句保存会協力）

☆とくとくボックス運動の開始

東日本大震災
被災地支援

２０１２年9月２８日（金）～３０日（日）

元気な街「名古屋の紹介」
唄と話と食べ物で！！

２０１２年９月　元気の街＝「名古屋を紹介」

唄と

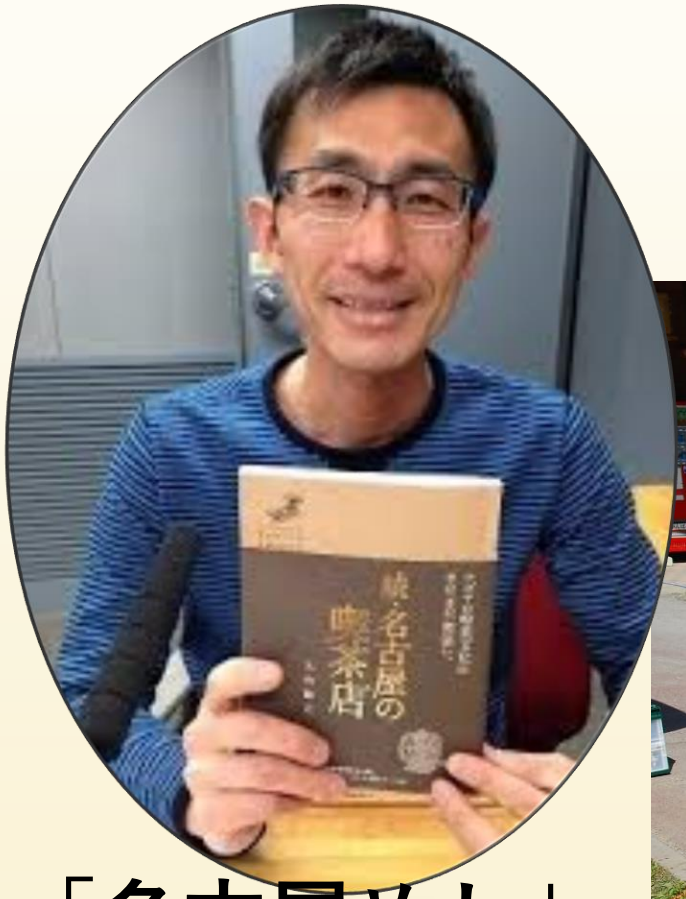
モビリア仮設住宅集会所で

話と

「木を植えた人」朗読

食べ物で

名古屋めしの代表「天むす」
「きしめん」「みそかつ」
おいしい😋！！



「名古屋めし」
講演

遅れて来られた方にも甚句を披露

私達のためだけに？
感激！！

ビンゴゲームで大喜び

賞品をめざしてビンゴ大会。「リーチ！」「ビンゴ！」
という声が飛び交い、とても盛り上がることが出来ました。

図書室に沢山の人がいるのでびっくりした。

あと一つでビンゴ！！

震災から１年半
瓦礫の山があちこちに
流されずに残ったビルは悲惨な状態で放置されたままに

サポート・プラス
１０年間の活動報告

２０１３年４月～２０２３年３月

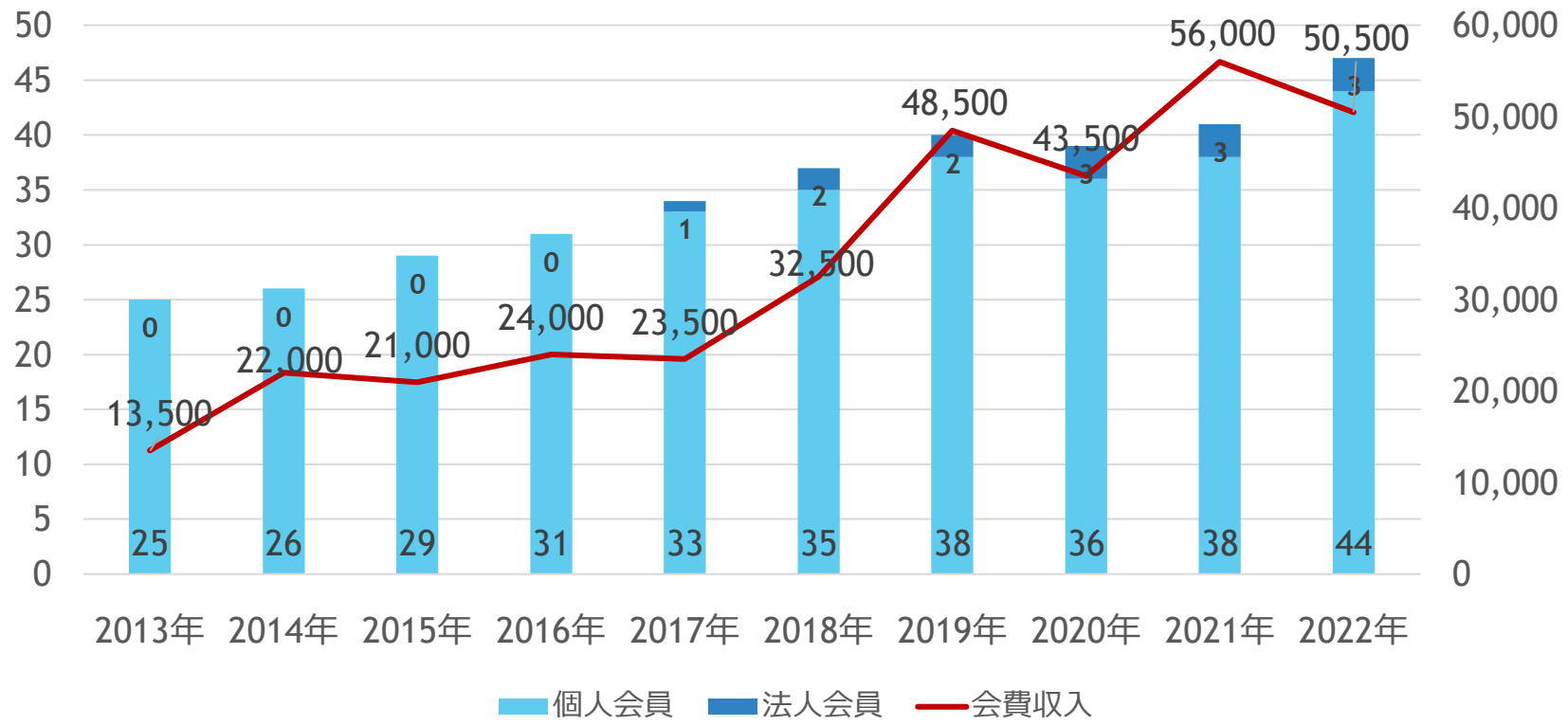
主な収入源

年会費・坐禅会・とくとくボックス・

募金・寄付金

会費収入と会員数

年　度	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
個人会員	25	26	29	31	33	35	38	36	38	44
法人会員	0	0	0	0	1	2	2	3	3	3
会費収入	13,500	22,000	21,000	24,000	23,500	32,500	48,500	43,500	56,000	50,500



- 年会費は個人会員
  １口500円
  法人会員は1,000円

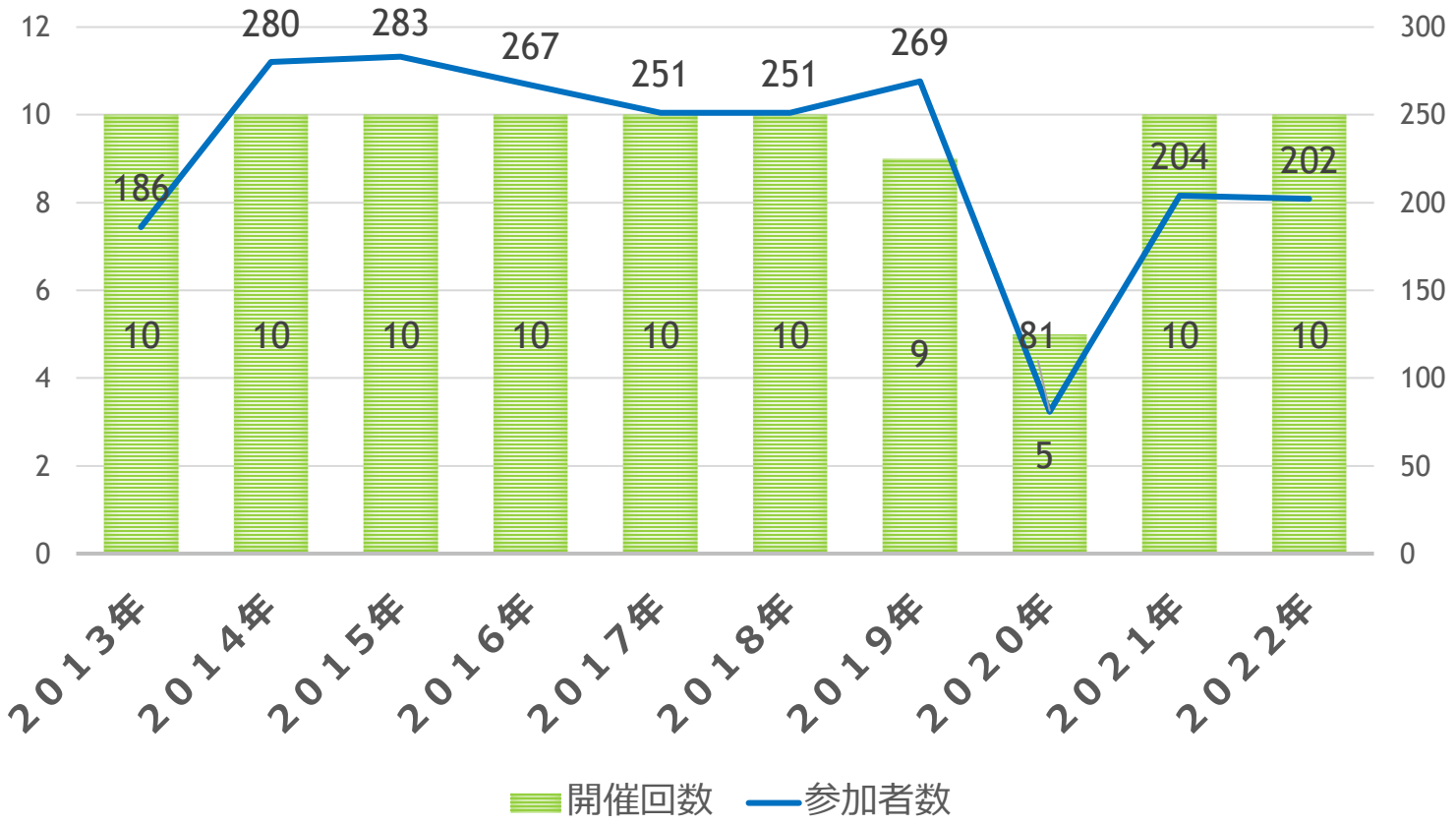
毎月1回、原則として第4土曜日の14:00～政秀寺の本堂にて坐っています。特に初心者向けの坐禅会です。1時間半の坐禅と30分の茶礼(ここではお抹茶をいただけます)でのお話しとで非日常的な静かな雰囲気を味わっています。

（現在は新型コロナ感染防止のため、坐禅は1時間、茶礼はありません。）

坐禅会

坐禅会参加者

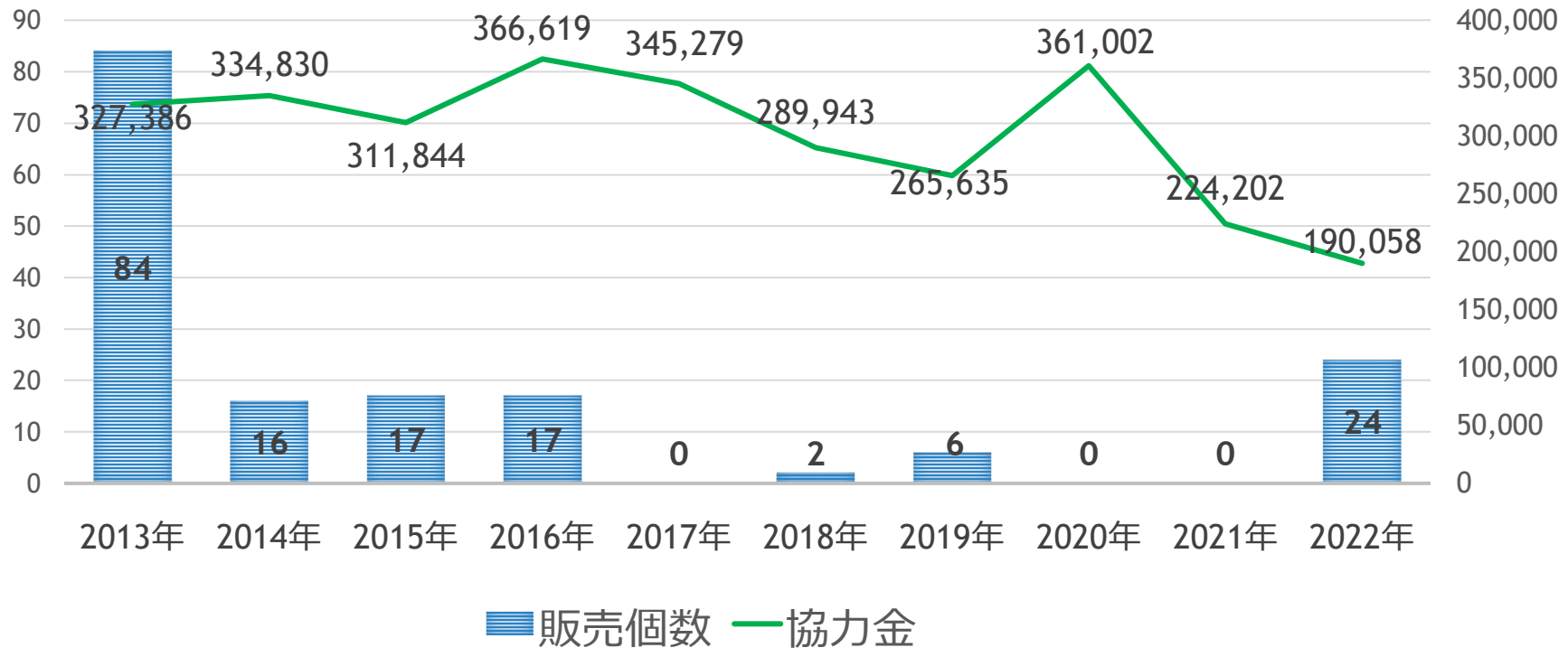
年度	２０１３年	２０１４年	２０１５年	２０１６年	２０１７年	２０１８年	２０１９年	２０２０年	２０２１年	２０２２年
開催回数	10	10	10	10	10	10	9	5	10	10
参加者数	186	280	283	267	251	251	269	81	204	202



- ８月と１２月は休会
- 2019年３月～2020年９月までコロナ感染拡大のため中止
- 2015年より坐禅終了後年２回懇親会開催、盛況でしたが、コロナのため中止現在に至る
- 参加費　１回　500円

とくとくボックス

年　度	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
販売個数	84	16	17	17	0	2	6	0	0	24
協力金（円）	327,386	334,830	311,844	366,619	345,279	289,943	265,635	361,002	224,202	190,058



その他特別収入

２０１７年	冊子販売　「新雲水物語」	１２７９冊	762,839円
			（寄付金含む）
２０２１年	寄付・募金（ミャンマー支援）		70,383円
２０２２年	寄付・募金		343,040円
	ミャンマー・スリランカ復興支援		
	トルコ地震支援		

主な活動

講演会開催・イタリアの旅・
芸能文化活動支援・被災地復興支援・
ＲＡＣＫ後方支援・コロナ禍支援・
とくとくボックス運動推進

講演会 1

▶深谷大 氏

2013年	４回	・浄瑠璃物語と絵巻
2014年	７回	・古浄瑠璃の時代　・義太夫節の成立 ・近松門左衛門の世界
2015年	３回	・近松門左衛門の世界　・名古屋甚句について
2016年	１回	・くずし字を読む
2017年	2回	・くずし字を読む
2018年	４回	・くずし字を読む
2019年	８回	・くずし字を読む　・名古屋甚句再考 ・名古屋甚句と相撲甚句

講演会 2

▶その他講演会

2013年　河野太通老師　・「心の時代」
ーお金だけでは人は救われないー

2018年　黒田クロ 氏　・ハウツー本関係のユニークな漫画家

2019年　勝田匡彦 氏　・戦後の日本経済の歴史

〃　松原　武 氏　・ラグビーW杯の楽しみ方

お料理とワインで巡るイタリアの旅

- リストランテ・イルソーレ

（２０１１年に始まり、２０１２年までに４回開催）

第５弾　2013年６月　北イタリア（ミラノ→パルマ→ボローニャ→フィレンツェ）
第６弾　2014年２月　イタリア火山ツアー
第７弾　2014年７月　スパークリングワインの産地巡り
第８弾　2015年３月　南イタリア、アドリア海沿岸ツアー
第９弾　2015年８月　夏のバカンス世界遺産の旅
第10弾　2016年３月　アドリア沿岸を北から南へ
第11弾　2016年８月　水の都ベネツィアのあるヴェネト洲
第12弾　2017年４月　スペイン経由南アフリカへ

第13弾　2017年９月　フランス　シャンパーニュ地方からドイツへ

第14弾　2018年４月　アメリカ　カリフォルニアからチリ・アルゼンチン

第15弾　2018年９月　オーストラリア・ニュージーランド

第16弾　2019年２月　ドイツ　ラインガウ地方・モーゼル地方

第17弾　2019年９月　イタリアミステリーツアー

（2020年・2021年はコロナ禍イベント中止）

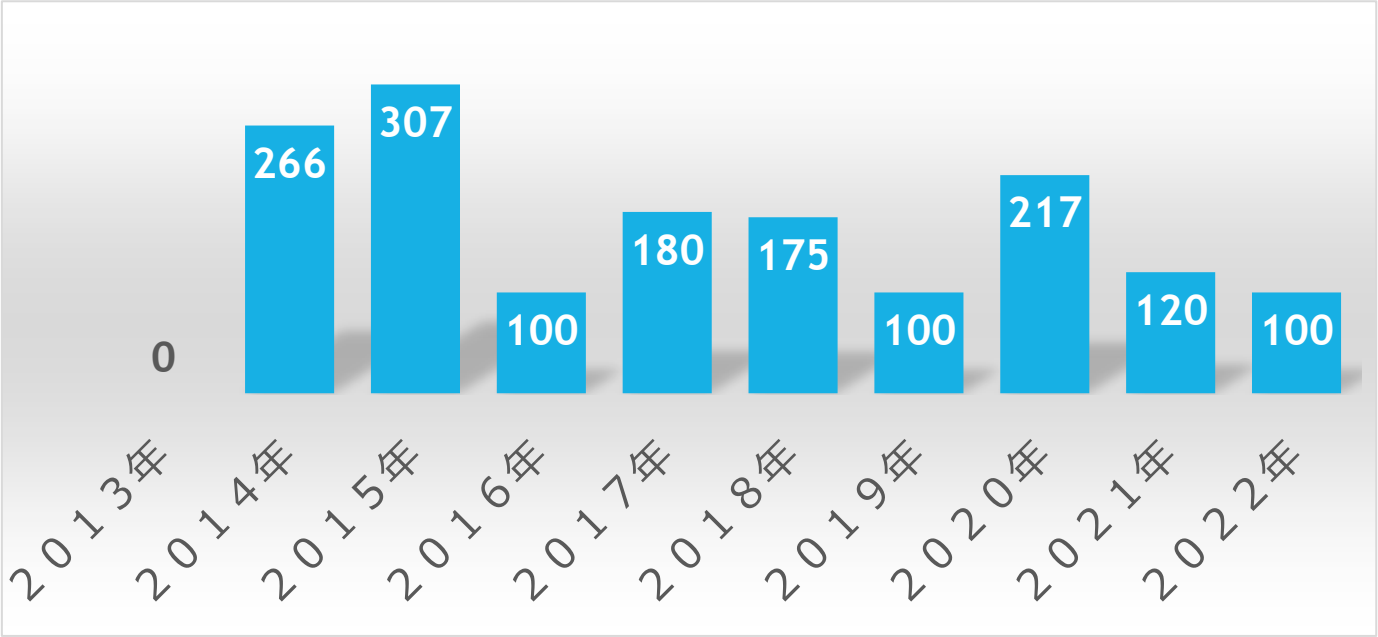
第18弾　2022年８月　南イタリアバカンスの旅

第19弾　2023年２月　ワイン発祥の地グルジアからギリシャ・南アフリカへ

芸能文化活動協力金

・正調名古屋甚句保存　≪名古屋伝統芸能の存続≫
・劇団クセック　≪会員榊原忠美氏所属の劇団≫
・講演会講師・チャリティコンサート協力者にコロナ禍支援

年度	２０１３年	２０１４年	２０１５年	２０１６年	２０１７年	２０１８年	２０１９年	２０２０年	２０２１年	２０２２年
支援金（千円）	0	266	307	100	180	175	100	217	120	100



・２０１４年は正調名古屋甚句保存会に東北支援の協力を得る
・２０１５年は正調名古屋甚句保存会のお披露目会を支援

被災地支援

東日本大震災被災地訪問

２０１４年１０月１０日（金）～１２日（日）
ＲＡＣＫ、正調名古屋甚句保存会と共催（参加者１５名）

１０日　名古屋から移動と準備

≪祈りと唄のコラボレーショ≫

１１日　陸前高田モビリア集会所慰問

１２日　盛岡一の倉邸慰問

・河野太通老師	法要・法話
・正調名古屋甚句保存会	名古屋甚句、たがだ名物
・錦城まりこ、渡辺みかこ	ピアノ演奏と歌

モビリア仮設住宅

コミュニティ図書室

ベルトコンベアーが四方八方
に走る街になっていた
巨大なクレーンが山を崩し、
ダンプカーでその土を運び、
街全体を嵩上していた

被災地支援

東日本大震災被災地訪問

２０１７年6月１６日（金）～１８日（日）

ＲＡＣＫに同行（参加者１５名）

１６日　名古屋から移動と準備

≪東日本大震災七回忌法要と前九年の役戦没者慰霊・被災地復興状況視察≫

１７日　陸前高田モビリア集会所慰問・慈恩寺訪問・

陸前高田市復興状況視察

１８日　一の倉邸・ブラインド　ドリーム（弱視の方を支える会）訪問

2017年6月17日 三回目の訪問

会場のコミュニティ図書室の前で〝ハイチーズ〟

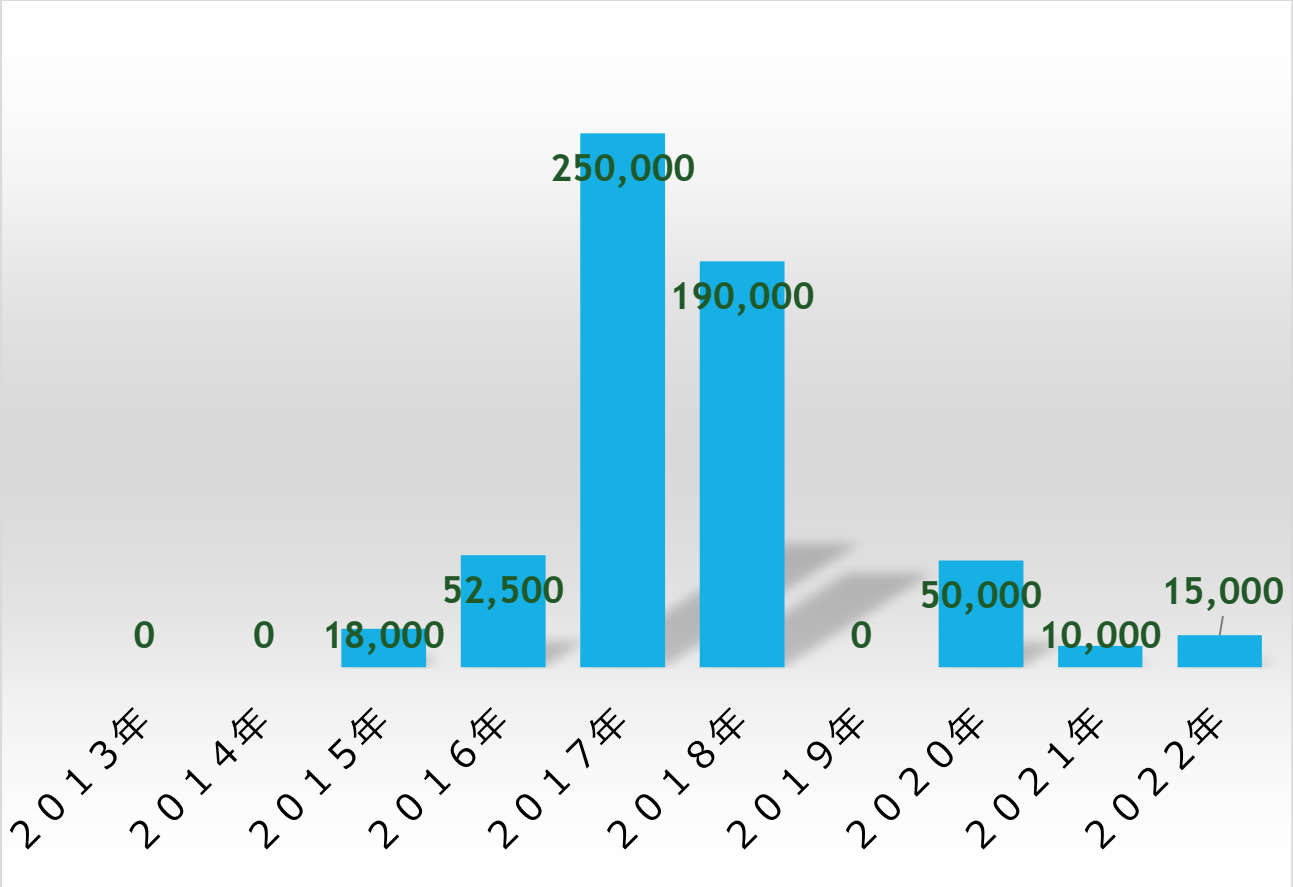
フィナーレは「花は咲く」を合唱

七回忌法要

震災から６年が過ぎ、嵩上された土地の上にショッピングセンターが開店し、隣には真新しい図書室が開設されていた

ＲＡＣＫ支援

年 度	２０１３年	２０１４年	２０１５年	２０１６年	２０１７年	２０１８年	２０１９年	２０２０年	２０２１年	２０２２年
支援金	0	0	18,000	52,500	250,000	190,000	0	50,000	10,000	15,000



2015年　ＲＡＣＫの手ぬぐい購入
2016年　大判ハンカチ購入
2017年　カンボジア・サンラン小学校建設助成
2018年　カンボジア慰霊訪問支援
2020年　ラック３５年誌発刊祝金
2021年　一筆箋購入
2022年　干支（兎）土鈴購入

コロナ禍支援

地元飲食店支援

※会員が申請した対象店で利用した金額に応じてキャッシュバック

2020年４月～１０月
　６店舗　３５回　協力者延べ７３名
　助成金　164,000円
2021年５月～８月
　４店舗　２３回　協力者の辺７２名
　助成金　191,000円

その他主な支援金

- 奨学金　海外日本語教育プロジェクト参加者支援
  ２０１６年　　100,000円
- ラテンアメリカの子供支援会合に参加費支援
  ２０１６年　　54,000円
- ＡＬＳ研究支援（クラウドファンディング）
  ２０２０年　　50,000円
- ミャンマー支援寄付金　　２０２２年　　140,766円
- スリランカ支援寄付金　　〃　　100,000円
- トルコ地震支援寄付金　　〃　　113,700円

あなたのお役に活動

- 会員所属の劇団、コンサート開催のＰＲと参加
- 講演会講師（深谷大氏）のカルチャースクールに参加
- カンボジア　プノムサンパウ慰霊法要の際の千羽鶴作りに協力
- 正調名古屋甚句保存会イベント用チラシ作成、プロジェクター用資料作り
- 政秀寺坐禅会、无名会使用の座布団虫干し2
- 会員の災害に備えての飲料水を配布

”とくとくボックス”運動への呼びかけ

▶ 生活をしているといろんな場面で得をしていることに出会います。
もちろん損をすることも多々ありますが、そこはプラス思考で！　！
　自分が得をしたと感じた時に、
何がしかのお金を保管しておく箱として
とくボックスと名付けて作りました。
とくとくボックスは出し入れ自由、
困っている人たちに寄付をしたり、
また自分が困ったときに使うこともＯＫです。
是非一人１個はそばに置いて活用してください。